



今月のFujimist

上の書は、「冬夏青青」。中国戦国時代の思想家・^{そうし} 莊子の言葉で、冬も夏も青々としているという意味だが、転じて信念が固く、どんなときも変わらないことのたとえでもある。書き表したのは、(公社)日展の理事で大東文化大学名誉教授の新井光風さん。今年4月に旭日小綬章を受章した、日本を代表する書家だ。

書との出会いは17歳のころ。書の大家・^{やすし} 西川寧氏(文化勲章受章)の著書に触れ、大きな衝撃と感銘を受けたことが書の本質を追及する出発点となった。以降、2千数百年前の中国の古代文字の研究と制作を重ね、まさに冬夏青青と書の道を追い求めてきた。例年8月15日に開催される「全国戦没者追悼式」の標柱の字も新井さんによるものだ。

書とは一体何か聞いてみた。「本物の書とは、精神・生命力・骨・肉・血のある、いわば人間と同じもの。私が筆を執るときは、自らの命の断面を紙面に定着させることを主眼にしています。書の本質は、自分の生き方を考えるこ

新井 光風 さん(書家)

— 関 秘書広報課 ☎241



とともいえるかもしれません」と語った新井さん。今年83歳を迎えたが、果て無き書の道のゴールはまだ見えない。「書の探求は、万物生命を生み出す根源的なものの正体を探るようなものかもしれません。目指す域は遠くならばかりですよ」。

それでもなお、自らの足元をゼロから見つめ直し、常に新たな書の世界の扉を切り開いていくのだという信念を打ち続けている。それは、書に人間の一生を変えるほどの大きな力を感じているから。「書は、人々に感動や喜び、そして生きる力を与えることができます。新型コロナウイルス感染症により不安が満ち溢れている今だからこそ、書の持つ力が必要だと思っています」。

書家・新井光風。その命が刻み込まれた書から、数々の苦難を乗り越えてきた人類の歴史と力強さを感じずにはいられない。

8・9月の土曜開庁と業務時間延長

取扱い業務など、詳しくは市ホームページをご覧ください。

市役所本庁舎 ☎049-251-2711

【土曜開庁】
8月1日(土)・9月5日(土)午前8時30分～午後0時30分

【業務時間延長】
毎週木曜(祝日を除く)午後7時まで

【開庁課】
市民課・保険年金課・税務課・収税課・子育て支援課・保育課

西出張所(鶴瀬駅西口サンライトマンション1階) ☎049-252-2331

【業務時間延長】
8月27日(木)・9月24日(木)午後8時まで

市ホームページなど

市ホームページ
<https://www.city.fujimi.saitama.jp/>

携帯版ホームページ
<https://www.city.fujimi.saitama.jp/mobile>

富士見市PRサイト
『キラリとかがやく
まち 富士見市』

子育て応援サイト
『すくすく子育て
FUJIMI』

人口と世帯数(7月1日現在)

人口…112,108人 (前月比 + 27人)
男 55,325人 (前月比 + 19人)
女 56,783人 (前月比 + 8人)
世帯数… 52,792世帯 (前月比 + 34世帯)

【市公式 twitter】
https://twitter.com/fujimi_city

【市公式 facebook】
<https://www.facebook.com/fujimikouhou>

【市公式LINE】
無料SNSアプリ「LINE」で
[@fujimi_city]と検索

【市公式YouTube】
富士見市公式YouTube 検索

【マチイロ】スマートフォンでも
広報「富士見」をご覧になります。
マチイロ 富士見市 検索

【テレ玉データ放送】テレ玉(地デジ3ch)視聴中
にdボタンで市の情報をご覧になります。

【ココシル☆ふじみ】
市の観光情報アプリ
ココシルふじみ 検索